資料2-2

検証指標一覧（参考）

熊本市上下水道局

令和8年（2026年）11月

全体サマリー

全44指標のうち39指標がA又はB評価となり、全体としてはおおむね計画どおり進捗しました。一方、一部の指標では目標を下回っており、未達成の要因を踏まえ、取組を着実に進める必要があります。

目指す将来像	基本方針	指標数	A評価	B評価	C評価	D評価	主な課題
安全安心	1 適切な維持管理と計画的な整備	12	3	5	3	1	老朽施設等の計画的な更新
安全安心	2 災害に強い上下水道の確立	9	8	1	0	0	下水道管路の耐震化の推進
環境保全	3 水循環の保全	5	4	0	1	0	地下水かん養量の確保
環境保全	4 資源・エネルギーの循環促進	2	1	1	0	0	省エネ・再エネ活用の継続
信 頼	5 お客さまの視点に立ったサービス提供	5	4	1	0	0	情報提供満足度の向上
信 頼	6 お客さまから信頼される職員の育成	3	2	1	0	0	研修受講率の維持・向上
持 続	7 財政の見通しに基づく事業経営	6	6	0	0	0	健全な財政運営の継続
持 続	8 経営基盤の強化	2	1	1	0	0	料金回収率の改善
	合計	44	29	10	4	1	

※経営戦略に掲載する47指標のうち、再掲の3指標を除く44指標を評価。

安全安心 基本方針1 適切な維持管理と計画的な整備（1/2）

検証指標	基準値（R5）	R7実績	R7目標	評価	評価の理由・今後の対応
水質基準達成率	100%	100%	100%	**A**	目標を達成したため、A評価としました。 今後も、水質検査計画に基づき、適切な水質検査を実施します。
残留塩素濃度から見たおいしい水の要件達成率	100%	100%	100%	**A**	目標を達成したため、A評価としました。 今後も、適切な水質管理により、おいしく安全な水道水を維持します。
水の有効率	90.0%	89.2%	93.3%	**D**	実績が目標を3.1ポイント下回ったため、D評価としました。 今後も、計画的な漏水調査や老朽管の更新等を実施し、有効率の改善に取り組みます。
鉛製給水管率	4.04%	3.64%	2.88%	**C**	実績が目標に0.76ポイント届かなかったため、C評価としました。 今後も、残存する鉛製給水管の解消に取り組みます。
浄化センター、ポンプ場の設備機器の点検割合	–	90%	100%	**B**	点検をおおむね計画どおり実施できたため、B評価としました。 今後は、未実施となった要因を踏まえ、対象設備の点検を計画的に進めます。
腐食環境下における下水道管路の点検実施率	–	100%	100%	**A**	計画どおり点検を完了したことから、A評価としました。 今後も、継続的に点検を実施し、管路の状況把握に努めます。

安全安心 基本方針1 適切な維持管理と計画的な整備（2/2）

検証指標	基準値（R5）	R7実績	R7目標	評価	評価の理由・今後の対応
取水井戸の更新箇所数（期間内累計）	7箇所	11箇所	13箇所	**B**	更新対象となる井戸の水運用上の制約により、実績が目標に届かなかったため、B評価としました。 今後も、計画に基づき、年2箇所の井戸更新を進めます。
水道管路の更新延長（期間内累計）	55.3 km	69.4 km	73.8 km	**C**	実績が目標を4.4km下回ったため、C評価としました。 今後も、管路の老朽度や重要度を踏まえて更新の優先順位を整理し、計画的に更新を進めます。
水運用機能強化のための新設管路延長	112.8 km	120.1 km	122.1 km	**B**	実績が目標を2.0km下回ったため、B評価としました。 今後も、計画に基づき、新設管路の整備を進め、水運用機能の強化を図ります。
浄化センター、ポンプ場の設備機器の改築更新率	–	50%	100%	**C**	一部の設備機器について計画どおりに改築更新できなかったため、C評価としました。 今後は、限られた予算の中で対象設備の優先順位を整理し、計画的に改築更新を進めます。
下水道管路の改築更新延長（期間内累計）	9,145 m	14,338 m	15,000 m	**B**	一部の施工箇所が年度内に完了せず、実績が目標に届かなかったため、B評価としました。 今後も、計画に基づき、下水道管路の改築更新を進めます。
公共下水道普及率	91.0%	91.3%	91.4%	**B**	実績が目標を0.1ポイント下回ったため、B評価としました。 引き続き、未普及地区の整備を進めるとともに、地域の実情に応じた効率的な汚水処理手法を検討します。

安全安心　基本方針2　災害に強い上下水道の確立（1/2）

検証指標	基準値（R5）	R7実績	R7目標	評価	評価の理由・今後の対応
耐震適合性のある基幹管路の割合	80.7%	81.5%	81.4%	**A**	実績が目標を0.1ポイント上回ったため、A評価としました。 今後も、基幹管路の重要度や老朽度を踏まえ、計画的に耐震化を進めます。
水道管路の耐震管率	32.0%	33.2%	32.7%	**A**	実績が目標を0.5ポイント上回ったため、A評価としました。 今後も、老朽管の更新とあわせて耐震管への布設替えを進めます。
下水道管路の耐震化率	43.7%	44.6%	44.9%	**B**	実績が目標を0.3ポイント下回ったため、B評価としました。 今後も、管路の重要度を踏まえ、計画的に耐震化を進めます。
浄化センター・ポンプ場の耐震対策実施率	38.4%	41.9%	39.4%	**A**	実績が目標を2.5ポイント上回ったため、A評価としました。 今後も、施設の重要度や耐震性能を踏まえ、計画的に耐震対策を進めます。
災害対策用貯水量	66,950㎥	66,950㎥	66,950㎥	**A**	目標を達成したため、A評価としました。 今後も、災害時に必要な水量を確保できるよう、施設の適切な維持管理に取り組みます。
重点対策地区の対策実施面積（浸水対策）	690.5 ha	690.5 ha	690.5 ha	**A**	目標を達成したため、A評価としました。 今後も、浸水リスクや被害状況を踏まえ、必要な浸水対策を進めます。

安全安心　基本方針2　災害に強い上下水道の確立（2/2）

検証指標	基準値（R5）	R7実績	R7目標	評価	評価の理由・今後の対応
危機管理研修延べ時間	892時間	1,371時間	1,000時間	**A**	実績が目標を上回ったため、A評価としました。 今後も、実践的な研修を継続し、災害時の対応力の向上を図ります。
避難所運営委員会等向け研修の実施回数（貯水機能付給水管）	5回	6回	5回	**A**	実績が目標を上回ったため、A評価としました。 今後も、貯水機能付給水管を活用した応急給水が円滑に行えるよう、研修を継続します。
マンホールトイレの整備基数	390基	490基	490基	**A**	目標を達成したため、A評価としました。 今後も、災害時におけるトイレ機能を確保するため、施設の適切な維持管理に取り組みます。

環境保全　基本方針3　水循環の保全

検証指標	基準値（R5）	R7実績	R7目標	評価	評価の理由・今後の対応
取水量に対する地下水かん養量の割合	18.0%	17.9%	20.0%	**C**	実績が目標を2.1ポイント下回ったため、C評価としました。 今後も、関係機関と連携し、地下水かん養の取組を進めます。
水質基準達成率（放流水）	–	100%	100%	**A**	目標を達成したため、A評価としました。 今後も、下水処理施設の適切な運転管理と水質監視を継続し、放流水の水質を確保します。
放流水の窒素含有量	3,842 kg/日	3,199k g/日	4,270 kg/日	**A**	実績が目標値を下回ったため、A評価としました。 今後も、下水処理施設を適切に運転管理し、放流水の水質を確保します。
放流水のリン含有量	335 kg/日	257 kg/日	430 kg/日	**A**	実績が目標値を下回ったため、A評価としました。 今後も、処理状況を継続的に監視し、安定した処理機能を確保します。
水洗化率	97.62 %	97.74 %	97.69 %	**A**	実績が目標を0.05ポイント上回ったため、A評価としました。 今後も、未接続世帯等への周知や働きかけを行い、水洗化を促進します。

環境保全　基本方針4　資源･エネルギーの循環促進

検証指標	基準値（R5）	R7実績	R7目標	評価	評価の理由･今後の対応
処理水量１㎥あたりの電力量	0.345 kWh	0.367 kWh	0.387 kWh	**A**	実績が目標値を下回ったため、A評価としました。 今後も、施設の効率的な運転や省エネルギー設備の活用により、電力使用量の抑制に取り組みます。
再生可能エネルギー発電量	12,273 千kWh	13,884 千kWh	13,900 千kWh	**B**	実績が目標を16千kWh下回ったため、B評価としました。 今後も、発電設備の適切な維持管理に努め、再生可能エネルギーの安定的な活用を進めます。

信 頼　基本方針5　お客さまの視点に立ったサービス提供

検証指標	基準値（R5）	R7実績	R7目標	評価	評価の理由・今後の対応
お客さまからのご意見数	578件	483件	380件	**A**	実績が目標を103件上回ったため、A評価としました。 今後も、お客さまからのご意見を幅広く把握し、サービスの改善につなげます。
情報提供満足度	40.3%	35.1%	44.4%	**B**	実績が目標を9.3ポイント下回ったため、B評価としました。 今後は、お客さまのニーズを踏まえ、分かりやすく効果的な情報提供に取り組みます。
広報活動の認知度	91.6%	94.4%	90.0%	**A**	実績が目標を4.4ポイント上回ったため、A評価としました。 今後も、広報媒体の特性を踏まえ、効果的な情報発信を行います。
給排水設備工事の電子申請率	29.0%	33.0%	30.0%	**A**	実績が目標を3.0ポイント上回ったため、A評価としました。 今後も、電子申請の利便性を周知し、利用の促進に取り組みます。
電子手続きの利用件数	22,723件	33,623件	27,200件	**A**	実績が目標を6,423件上回ったため、A評価としました。 今後も、電子手続きの対象拡大や利用方法の周知に取り組み、お客さまの利便性向上を図ります。

信 頼　基本方針6　お客さまから信頼される職員の育成

検証指標	基準値（R5）	R7実績	R7目標	評価	評価の理由・今後の対応
研修受講率	92.7%	93.5%	93.3%	**A**	実績が目標を0.2ポイント上回ったため、A評価としました。 今後も、業務に必要な知識や技術の習得に向け、計画的に研修を実施します。
内部講師の養成数	4人	4人	2人	**A**	実績が目標を2人上回ったため、A評価としました。 今後も、専門的な知識や技術を組織内で継承できるよう、内部講師の養成に取り組みます。
国際交流件数	–	3件	5件	**B**	実績が目標を2件下回ったものの、53人の受け入れを行ったため、B評価としました。 今後も、関係機関との調整を行いながら、国際交流の機会の確保に取り組みます。

持 続　基本方針7　財政の見通しに基づく事業経営

検証指標	基準値（R5）	R7実績	R7目標	評価	評価の理由・今後の対応
水道事業会計純損益	24.6億円	17.4億円	黒字	**A**	黒字を確保したため、A評価としました。 今後も、収入の確保と経費の抑制に取り組み、安定的な事業経営に努めます。
下水道事業会計純損益	19.8億円	9.2億円	黒字	**A**	黒字を確保したため、A評価としました。 今後も、収入と支出の状況を的確に把握し、健全な事業経営に努めます。
企業債残高（水道）	295億円	246億円	310億円	**A**	企業債残高が目標の範囲内となったため、A評価としました。 今後も、将来の財政負担を考慮しながら、企業債を計画的に活用します。
企業債残高（下水道）	1,287億円	1,236億円	1,275億円	**A**	企業債残高が目標の範囲内となったため、A評価としました。 今後も、事業費や償還額の見通しを踏まえ、企業債残高を適切に管理します。
企業債残高対給水収益比率（水道）	258%	246%	273%	**A**	実績が目標値を下回ったため、A評価としました。 今後も、給水収益と企業債残高のバランスを考慮し、将来負担の抑制に取り組みます。
企業債残高対事業規模比率（下水道）	664%	632%	643%	**A**	実績が目標値を下回ったため、A評価としました。 今後も、事業規模と企業債残高のバランスを考慮し、健全な財政運営に取り組みます。

持 続　基本方針8　経営基盤の強化

検証指標	基準値（R5）	R7実績	R7目標	評価	評価の理由・今後の対応
料金回収率（水道）	–	110.6 %	114.6 %	**B**	実績が目標を4.0ポイント下回ったため、B評価としました。 今後も、収入の確保と経費の抑制に取り組み、料金回収率の改善を図ります。
経費回収率（下水道）	–	95.9%	95.6%	**A**	実績が目標を0.3ポイント上回ったため、A評価としました。 今後も、使用料収入の確保と汚水処理費の抑制に取り組み、経費回収率の維持・向上を図ります。